

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間: 2024年12月

結果公表日: 2025年3月27日

## 回答率

事業所職員: 6名回答、回答率 100%

保護者様: 18名回答、回答率 95%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・訓練室は利用定員に対して十分な広さが確保できている。場所を広く使いたい時は机の配置を変更するなどして工夫している。
- ・体制に関しては、法令上の人員基準は満たしているものの、曜日によっては、主に送迎の時間帯において教室内の職員数が限られてしまったり、送迎に多くの職員が対応が必要となる場合があったりすることがあるため、職員配置や近隣教室と連携して送迎調整を行うなどして工夫している。

### ○業務改善

- ・業務前ミーティング時に利用者の様子や連絡事項について共有し、必要な事項について検討している。その日のスケジュールによって十分に時間が確保できないことはあるが、なるべく全ての職員が意見を言える環境作りを心掛けている。
- ・保護者からの意見については、要望をいただき次第、都度共有している。

### ○適切な支援の提供

- ・個別の支援に関しては利用者の支援内容を職員で話し合い、その日の支援方法を決定している。
- ・集団療育の活動内容は、利用者の特性を踏まえて、固定化しないよう、都度変更している。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・保護者との連携は、主に送迎時に生徒の状況について報告を行っている。
- ・学校や相談支援事業所との連携は、普段は送迎時連絡やモニタリング時に行い、必要に応じて担当者会議への参加を通じて情報共有・連携を行っている。

### ○保護者への説明責任等

- ・半年に一回保護者会・療育参観を実施し、教室の様子や療育活動の内容について周知している。併せてブログやニュースレター等を用い、来室が難しい保護者にも教室の様子が伝わるよう心掛けている。

### ○非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアルなどについては、必要なものは整備できている。保護者への周知が不十分のため、ブログでの発信や療育参観などの機会に伝えていきたい。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

・職員の配置や専門性について肯定的な意見を多くいただいた。生活空間の構造化やバリアフリー化については、教室を見たことがないのでわからないという意見もいただいた。

### ○適切な支援の提供

・「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を盛り込んだ放課後等デイサービス計画の作成や、活動プログラムの工夫については、9割以上の方から「はい」との回答をいただき、満足度が高いことがうかがえた。

・放課後児童クラブ等の地域の他の子どもと活動する機会については、実施できていないとの意見が多かったが、「特に交流しなくていいと思っています」、との意見もいただいた。

### ○保護者への説明等

・「日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができているか」の項目について、9割の方から「はい」との肯定的な回答をいただけた。

・「保護者同士の交流の機会」の項目については、約3割の方から「はい」との回答をいただいた。療育参観を実施したが、参加者が少なかったこともあるため、今後の実施方法の検討が必要である。

### ○非常時等の対応

・事故等の対応については、「まだそういう事はないが、スマートさんはしっかりと説明と対応をしてくれるだろうと感じる」とのご意見をいただいた。

・各種マニュアルの周知、説明については、8割近くの方から「はい」との回答をいただいた。今後もブログ等での発信を続けるなど、周知方法の検討が必要である。

### ○満足度

・「安心感をもって通所しているか」「通所を楽しみにしているか」「事業所の支援に満足していますか」の項目は、9割以上の方から「はい」との回答をいただき、満足度が高いことがうかがえた。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

・感染症拡大状況を鑑みながら、療育参観できる保護者会などを開催することで、職員の体制や、療育活動の周知を図るとともに、保護者同士の交流の場を設ける。

・ニュースレターやブログを活用し、避難訓練の様子や非常時の対応について紹介する。

・祝日や長期休みに課外活動の企画・実施を行う。

### ○改善できた点・まだ残る課題

・夏休み期間に療育参観を実施することができたものの、参加者が少なかったため、多くの方が参加できるよう実施方法の検討が必要である。

・月1回程度ブログを更新し、療育活動など教室の様子を発信することができたが、避難訓練など非常時の対応についての周知は十分でなかったため、発信内容の検討が必要である。

・長期休み、祝日の開室時に課外活動を複数実施することができた。



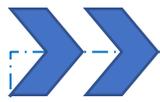
## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・利用者の特性・保護者の要望などを踏まえ、活動内容が固定化しないようにプログラムを設定している。
- ・支援の内容や利用者負担などについて、丁寧な説明ができています。また、面談や保護者への助言にも努めている。
- ・利用者が安心して、楽しんで通所することができている。

### ○改善点

- ・多くの保護者が参加できる保護者会や療育参観の実施。
- ・他機関や地域との交流ができるようなイベントの策定。
- ・非常時の対応や各種マニュアルの周知。



## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・保護者会や療育参観について、多くの保護者に参加してもらえるように工夫する。
- ・ブログやニュースレターの内容を充実させ、教室環境や活動内容、療育の様子、各種マニュアルの周知を図る。
- ・地域の方々との交流や、地域施設の見学等、地域に開かれた運営を行う。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・実施日時や実施方法の工夫、早めの周知により、多くの保護者が参加しやすい保護者会・療育参観を実施する。
- ・月1回程度の頻度でブログを更新し、教室の様子や療育活動の紹介の他、避難訓練や各種マニュアルについても周知を行う。
- ・課外活動を通して地域の施設見学行うなど、地域との交流を図る。